設定ガイド

目次

1	初期設定(SXC セットアップ)2
1.1	設定手順2
1.2	SXC 列
1.3	セットアップファイル/フォルダー構成3
2	設定ファイル(xmleditor-settings.json)5
2.1	設定手順5
2.2	設定項目5
3	XML スニペット設定9
3.1	設定手順9
3.2	スニペット定義 XML 要素9
3.3	スニペット定義構成11
3.4	スニペット処理パターン(要素選択時)12
3.4.1	injection (挿入)12
3.4.2	transform(変換) 13
3.4.3	replace(置換)13
3.4.4	replaceChild (子要素置換)13
3.5	スニペット処理パターン(テキスト編集時)14
3.5.1	injection (挿入)14
3.5.2	transform(変換)14
3.6	スニペット処理パターン(要素追加時)14
3.6.1	injection (挿入)14
4	サポート情報15
5	発行情報16

1 初期設定(SXC セットアップ)

1.1 設定手順

新規作成または既存の SharePoint ドキュメントライブラリーに対し、SXC CLOUD™ (Smart XML Creator Cloud)をセットアップする手順を示します。

- 1. 新規作成または既存のドキュメントライブラリーを表示します。
- 2. トップバーで[SXC セットアップ]ボタンをクリックします。

※サブフォルダではボタン表示されません。

 XML セットアップ・ダイアログボックスで、該当ドキュメントライブラリーへ追加する SXC 列を確認し、OK・ボタンを押すと、ドキュメントライブラリーへ SXC CLOUD がセ ットアップされ使用できる状態となります。

sxcセットアップ			
このドキュメントライブラリへSXCをセットアップします。			
ibmするsxC列: ・ XML Title 2 ・ XML Type 3 ・ XML Language 4 ・ XML Version 5 ・ XML Validation 6 ・ XML File Comment 7 NML Text Content 8 Extracted Tags			

1	XML Title	XML 文書タイトルを保存する列が追加されます。
2	XML Type	XML 文書タイプを保持する列が追加されます。
3	XML Language	XML 文書言語を保存する列が追加されます。

-		
4	XML Version	XML 文書バージョンを保存する列が追加されます。
5	XML Validation	XML 検証結果を保存する列が追加されます。
6	XML File Comment	XML文書ファイルコメントを保存する列が追加されま す。
7	XML Text Content	(任意)XML文章内テキストコンテントを保存する列が 追加されます。
		※SharePoint 全文検索対象外のファイル拡張子で運用す る際においても、この機能を ON にすることで SharePoint 全文検索クローラーへヒットさせることが可 能となります。
8	Extracted Tags	(任意) XML 文書内から自動抽出したタグを保存する列 が追加されます。 ※別途オプション契約が必要となります。

1.2 SXC列

初期設定で追加されるセットアップファイル/フォルダー構成を示します

□ 名前 ∨	更新日時 ~	更新省 🗸	XML Title \vee	XML Type \smallsetminus	XML Language \sim	XML Version \sim	XML Validation \vee	XML File Comment \vee	+列の追加 ~
Config	散秒前								
mleditor-settings.json	歡秒前								

1.3 セットアップファイル/フォルダー構成

初期設定で配置されるセットアップファイル/フォルダー構成を示します。

[ドキュメントライブラリー]



1	dtd フォルダー	DTD ファイルが保存されます。
2	sch フォルダー	Schematron ファイルが保存されます。
3	snippets フォルダー	XML スニペットファイルが保存されます。
4	template フォルダー	XML 文書テンプレートファイルが保存されます。
5	xslt フォルダー	XSLT ファイルが保存されます。
6	ライセンスキーファイル	SXC CLOUD ライセンスキーファイルが保存されます。 ※CMC より発行された SXC CLOUD ライセンスキーフ ァイルで上書きしてください。
7	設定ファイル	SXC CLOUD 設定ファイル(xmleditor-settings.json)が 保存されます。

2 設定ファイル (xmleditor-settings.json)

2.1 設定手順

新規作成または既存の SharePoint ドキュメントライブラリーに対し、SXC CLOUD™ (Smart XML Creator Cloud)をセットアップする手順を示します。

- 1. 新規作成または既存のドキュメントライブラリーを表示します。
- 2. トップバーで[SXC 設定]ボタンをクリックします。

※サブフォルダではボタン表示されません。

3. SXC 設定・ダイアログボックスで、設定ファイルを編集し、保存・ボタンを押すと、設定 内容の検証および再確認メッセージボックスが表示されます。

※検証エラーの場合は保存されずエラーメッセージが表示されます。

4. 再確認メッセージボックスで、OK・ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

1	(
2	"appTitle": "SXC CLOUD for SharePoint",	
3	"licensekeyUrl": "./config/SXC4SPLICENSE.tXt",	
4	"httpRequestRevParellelCount: 5,	
5	"undeteNetifu", true	18
7	"vnathNamesnaseMan": {	
8	"syg": "http://www.w3.org/2000/syg"	
9	}.	a Blanna - Villar - Villar - Villar -
10	"xmlExtGroupNames":	1133.3
11	"mapExts"	
12	"topicExts"	
13],	
14	"imageExtGroupNames": [
15	"imageExts"	
16]`	
17	"extGroups": [
18	{	
19	"name": "imageExts",	
20	"exts": [
21	"png",	
22	"jpg",	
23	"gif",	
24	svg",	
25	eps,	
26	"a1"	

2.2 設定項目

設定項目を示します。

appTitle	アプリケーションタイトルとして表示される文字列
LicenseKeyUrl	SXC CLOUD ライセンスキーファイルへの URL
httpRequestRetryCount	HTTP リクエスト-リトライ数
httpRequestMaxParallelCount	HTTP リクエスト-最大並列数

updateNotify	編集中の XML に対しての他からの更新を通知するかど うかのフラグ		
xpathNamespaceMap	XML 名前空間		
xmlExtGroupNames	XML ファイル拡張子グループ名		
imageExtGroupNames	画像ファイル拡張子グループ名		
externalFileExtGroupNames	外部ファイル拡張子グループ名		
extGroups	拡張子グループ		
name	名前		
exts	拡張子		
filePickerPane	ファイル選択ペイン		
imageWidth	画像表示幅		
imageHeight	画像表示高		
imageResolution	サムネイル画像解像度		
contentWidth	コンテント表示幅		
contentHeight	コンテント表示高		
contentScale	コンテントスケール		
contentScaledWidthRatio	コンテント幅 (%)		
contentTitleOnly	コンテントタイトルのみ		
batchUpdateColumns	列一括更新		
updateMaxParallelCount	更新-最大並列数		
publicIdToXmlTypeMap	XML DOCTYPE 宣言 publicId と XML タイプの対応付け		
machineTranslation	機械翻訳		
subscriptionKey	Azure Cognitive Services サブスクリプションキー		
endpointUrl	Azure Cognitive Services エンドポイント URL		
maxStringLengthToCache	処理効率を上げるため、翻訳結果をキャッシュする対象 文字列の最大長		
translationMaxParallelCount	翻訳-最大並列数		

spellCheck	スペルチェック		
subscriptionKey	Azure Cognitive Services サブスクリプションキー		
endpointUrl	Azure Cognitive Services エンドポイント URL		
contentModerator	不適切用語検出		
subscriptionKey	Azure Cognitive Services サブスクリプションキー		
endpointUrl	Azure Cognitive Services エンドポイント URL		
extractTags	タグ抽出		
autoUpdate	自動更新		
textAnalytics	テキスト解析		
subscriptionKey	Azure Cognitive Services サブスクリプションキー		
endpointUrl	Azure Cognitive Services エンドポイント URL		
computerVision	画像解析		
subscriptionKey	Azure Cognitive Services サブスクリプションキー		
endpointUrl	Azure Cognitive Services エンドポイント URL		
additionalXmlTextXPaths	抽出テキスト XPath		
specialCharacters	特殊文字		
name	名前		
code	文字コード		
char	文字		
xmlTypes	XML タイプ		
type	タイプ		
displayName	表示名		
dtdUrl	DTD ファイル URL		
schUrl	スキマトロンファイル URL		
xsltUrl	XSLT ファイル URL		
previewXsltUrl	プレビュー表示 XSLT ファイル URL		
templateUrl	テンプレートファイル URL		

snippetsUrl	XML スニペットファイル URL	
idprefix	id 属性値プレフィックス	
customName	カスタム名	
titleXPaths	文書タイトル XPath	
translationXPaths	翻訳対象 XPath	
textEditElemNames	テキスト編集要素名	
xmlLangs	XML 言語	
displayName	表示名	
xmlLang	XML 言語	
translationLang	翻訳言語	
spellCheckLang	スペルチェック言語	
iso639Code	ISO 639 ⊐ード	
customSettings	カスタム設定	
customName	カスタム名	
topicExtGroupName	トピック拡張子グループ名	
mapExtGroupName	マップ拡張子グループ名	

3 XML スニペット設定

3.1 設定手順

XML スニペットファイルを作成し、設定ファイル(xmleditor-settings.json)の xmlTypes. snippetsUrl より参照します。

3.2 スニペット定義 XML 要素

スニペット定義 XML 要素を示します。

要素	属性	説明
sxcXmlSnippets		
title		XML スニペット定義タイトル
triggers		
snippetsMenu		XML スニペットメニュー
menultem		メニューアイテム(要素選択時)
	@label	メニューラベル
	@desc	メニューフォーカス時に表示される説明文
	@snippetId	呼び出されるスニペットの ID
	@action	 アクション Injection(挿入) カレント要素へ XML フラグメントを挿 入します。 transform(変換) カレント要素 XML を XSLT 変換しま す。 replace(置換) カレント要素 XML を XML フラグメン トで置換します。 replaceChild(子要素置換) カレント要素の子要素 XML を XML フ ラグメントで置換します。
	@match	メニュー活性化条件(XPath 指定)
menultem4TextEdit		メニューアイテム(テキスト編集時)
	@label	メニューラベル

設定ガイド

要素	属性	説明
	@desc	メニューフォーカス時に表示される説明文
	@snippetId	呼び出されるスニペットの ID
	@action	 アクション Injection(挿入) キャレット位置または、選択テキスト ヘテキストを挿入します。 transform(変換) 選択テキストを<snippetxmlflagment >でラップした XML を xslText で XSLT 変換します。</snippetxmlflagment
	@match	メニュー活性化条件(XPath 指定)
	@selecting	メニュー活性化条件(テキスト選択時)
addElement		要素追加拡張
	@elementName	要素名
	@snippetId	呼び出されるスニペットの ID
	@match	メニュー活性化条件(XPath 指定)
snippets		
snippet		スニペット
	@id	スニペット ID
xmlText		XML フラグメント
xmlJsonSchema		入力フォーム json-schema ※フォームへの入力値は、 <snippetxmlflagment>でラップした XML へ変換され、xslText で XSLT 変換します。</snippetxmlflagment>
xmlUIJsonSchema		UI コントロール json-schema
xslText		XSL ※入力フォームまたはテキスト編集時の選 択テキストはルート要素 <snippetxmlflagment>配下を変換するよ う構成してください。</snippetxmlflagment>

3.3 スニペット定義構成

スニペット定義構成を示します。



1	XML スニペットメニュー 階層定義	XML 編集・ダイアログのコマンドバー内およびミニツー ルバーへ配置される。	
		XML スニペット・ボタンを押すと、表示されるメニュー 階層を定義します。	
		要素選択時: menultem 要素で定義	
		テキスト編集時:menultem4TextEdit 要素で定義	
2	要素追加拡張定義	要素追加時の前処理を定義します。	
3	元となる XML フラグメン	XML フラグメントを定義します。	
	卜定義	※3 と 4 は相互排他的な定義となります。	
4	元となる XML フラグメン ト生成用フォーム定義	UI フォームの入力内容により XML フラグメントを動的 に生成する際の、json-schema を定義します。 ※3 と 4 は相互排他的な定義となります。 ※参照: <u>https://rjsf-team.github.io/react-jsonschema-form/</u>	
5	元となる XML フラグメン トを変換する XSL 定義	XSL を定義します。	

3.4 スニペット処理パターン(要素選択時)

要素選択時のスニペット処理パターンを示します。

3.4.1 injection (挿入)



3.4.2 transform (変換)



3.4.3 replace (置換)



3.4.4 replaceChild (子要素置換)



3.5 スニペット処理パターン(テキスト編集時) テキスト編集時のスニペット処理パターンを示します。

3.5.1 injection (挿入)



3.5.2 transform (変換)



3.6 スニペット処理パターン(要素追加時)

要素追加時のスニペット処理パターンを示します。

3.6.1 injection (挿入)



4 サポート情報

ご不明な点は専用サイトをご覧ください。 その他、各種お問い合わせはメールにて承っております。

Mail : <u>sxc-support@cmc.co.jp</u>

5 発行情報

- 発行日: 2021 年 4 月 30 日初版発行
- 発行所:株式会社シイエム・シイ

〒460-0021 名古屋市中区平和 1-1-19

- Web : <u>https://www.cmc.co.jp/</u>
- Mail: <u>sxc-contact@cmc.co.jp</u>